

82年夏の出場校

春日丘が出場辞退

「感染者が多数」

82年夏の甲子園出場校の春日丘が20日、大阪大会3回戦の出場を辞退した。大阪府高野連は「部員に感染者が多数出たため、学校長判断により出場辞退の申し入れがあり受理した」と説明。21日に対戦予定だった高規北が不戦勝となる。

卒コーチのおい

金城3の0「次」

大阪電通大高

元横浜の金城龍彦氏（45）巨人守備走塁コーチのおい、金城太翔（たいと）内野手（3年）はホロ苦の3回戦突破となった。2番三塁で出場したが3打席無安打。初戦に続きHランプをともせなかつた。5-0で勝利したが「みんながやってくれた、次に切り替えていく」と、仲間に感謝してリベンジを誓った。中学時代の始めは右打ちだったが両打ちだったおじの影響で、左打ちに変えた。「生まれた時から、プロとして活躍していて、憧れの存在」。追いつけ追い越せで、おじが近大付で踏んだ聖地を目指す。

大縄跳び50回連続

絆の3回戦進出

みどり清明（大阪）

久米田に10-0の5回コールド勝ちで3回戦進出を決めた。チーム独自の練習メニューは大縄跳び。約8年前から、下半身強化と結束力向上を目的に取り組んでいる。毎日、マネジャーを含めた部員全員で、50回連続でクリアするまで何度も挑戦する。主将の今川乃（だ

い）内野手（3年）は「2日前の練習のときも大縄をやって、50回一発でクリアという目標があった。それを成功できて全員の絆だったり、初回の入りだったり（つなげた）」と効果を実感。ベスト16を目標にチーム全員で熱い夏にす

る。

元プロ土井監督4年目の夏

4失策でも完封

東大阪大柏原

元オリックス、巨人の土井健大監督（33）が率いて4年目の夏、エースの公式戦初完封で初戦を突破した。今春の府大会から背番号1をつける大和裕輝投手（3年）が、味方の4失策にも踏ん張り、阪南大高を3安打完封。20年秋の府大会で0-7で敗れた相手でも「やりにくさはありました。やらなアカン、とずっと思ってた。投げたまま」と気合の勝利だ。土井監督は「初戦とはいえ、まさか4エラーとは…。大和が本当によく投げました」とエースをたたえた。

阪神大学リーグ

大阪電通大が初

1部昇格報告会

阪神大学リーグで1部昇格を果たした大阪電通大が20日、大阪・四條畷市内の同大学で報告会を行った。1部昇格は創部60年で初めて。中角太陽主将（4年）比叡山）は「目標は選手権大会出場。チーム全体でレベルアップして、いいチーム、伝統を作っていけるように頑張りたい。そしてもっと応援してもらえるチームを作りたい」と決意を語った。また、昨年11月まで投手コーチを務めた現阪神の江草仁貴2軍投手コーチ（41）からは、「強い気持ちを持って、1部でもいい結果が出る」とビデオメッセージが送られた。



1部昇格報告会に参加した大阪電通大硬式野球部関係者